

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

海老江東小	学校	児童数	63
-------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	15.39	20.46	30.89	41.07	49.93	9.51	152.25	20.40	52.36
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.17	21.42	36.13	41.20	37.90	9.75	142.77	13.07	55.30
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

・男子は8種目中4種目で全国平均と大阪市平均を上回った。体力合計点でも大阪市平均を0.8ポイント上回ったものの、全国平均を0.7ポイント下回った。課題は、長座体前屈と握力、ソフトボール投げである。女子は8種目中6種目で大阪市平均を上回るとともに、5種目で全国平均を上回った。体力合計点でも、大阪市平均を4ポイント、全国平均を1.5ポイント上回った。課題は、長座体前屈と握力であった。

質問紙調査からは、男女とも「運動が好き」と回答する児童の割合が大阪市平均・全国平均に比べて高くなった。また、「体育の授業は楽しい」と回答する児童の割合も高い。「できなかったことができるようになった」とき、体育の授業が楽しいと感じる児童が多いことが特長となっており、日々の体育の授業で、自分の目標をもち、その達成をめざして学ぶ授業となるよう授業改善に努めたことにより、その成果が表れていると考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和4年11月からの新校舎新築工事により使えなかった運動場が、2年4か月ぶりに活用できるようになった。この間、体育館と併用で、体育の授業や遊放時の外遊びを学年で割り当て、運動時間の確保に努めてきた。また、それぞれの運動の特性（よさや楽しさ）に触れる体育授業の改善にも努めてきた。普段の体育の授業では、児童が目標を意識した学習で「できた」「わかった」を味わえるような授業改善を行ってきた。冬のかけ足によるの体力づくりやシナプソロジー（運動と脳を関連付けながらの活性化運動）の導入も積極的に行った。さらに、トップアスリート事業等を活用し、プロスポーツ選手やオリンピック選手を招聘した出前授業を行い、技術の向上とともに、スポーツの楽しさを味わう機会を設定してきた。これらの取り組みにより、運動能力や体力が向上してきている、と考える。

今後は、握力や柔軟性を高める遊びや運動を、体育授業の中に取り入れるとともに、できなかったことができるようになる体験や、体を動かしてスッキリした気分や友だちと交流したり協力したりする楽しさを味わうことができるような体育の授業の工夫・改善に取り組んでいく。

